



私たちの大切な熊野川

令和4年度 河川管理レポート



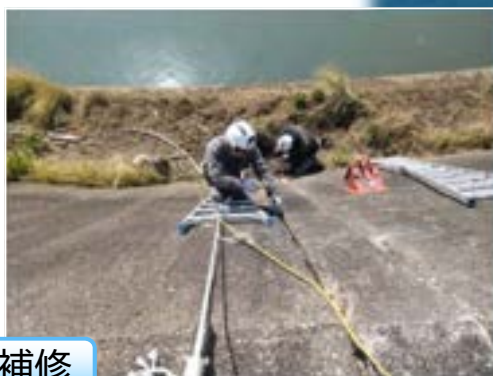
堤防除草



点検



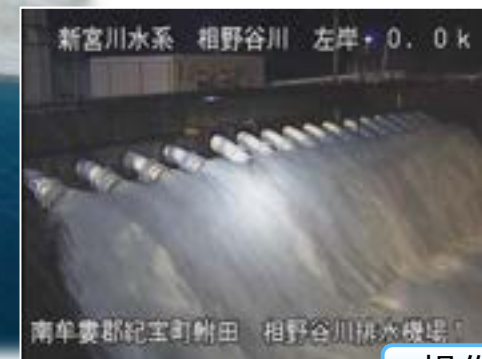
訓練



補修



私が紹介
するわ！！



操作

熊野川をまもるこの一年の取り組み



はじめに

このレポートでは、悠久の歴史を語る熊野川のいまの状態を知ってもらい、紀南河川国道事務所が取り組んでいる仕事の内容を、わかりやすくお伝えしていきます。

熊野川の維持管理目標

●Topic0 : 河川維持管理の目標

洪水からまちを守る

- Topic1 : 紀伊半島大水害
- Topic2 : 洪水からまちを守る
- Topic3 : もしもの時に備えて

河川の状態を把握する

- Topic4 : 絶えず見守っています
- Topic5 : 早期発見に努めています

河川を健全に保つ

- Topic6 : 保守点検を行っています
- Topic7 : 補修や対策を行っています
- Topic8 : 河川で楽しんでいただくために

地域と力を合わせる

●Topic9 : 自然豊かなかわとともに

その他

- Topic10 : 濁水のモニタリング
- Topic11 : コスト縮減
- Topic12 : 防災意識の向上

キャラクター紹介

平成16年度「熊野川・河川愛護・世界遺産」
オリジナルイメージ募集の入賞作品



最優秀賞



ビジュアル大賞

熊野川の維持管理に当たっては、「熊野川維持管理計画」(H31.3)において、次の通り目標を設定しています。

- 河川維持管理目標は、時間の経過や洪水・地震等の外力、人為的な作用等によって、河川に求められる治水・利水・環境の目的を達成するための機能が低下した場合、これを適確に把握して必要な対策を行うために設けるものです。

河道流下断面に係る目標

これまでの河川改修等により確保された流下能力を維持していきます。



施設の機能維持に係る目標

河道、堤防、護岸・根固め工・水制工、床止め、堰・水門・樋門・排水機場 水文・水理観測施設等の機能が維持されるよう、必要な対策を実施します。



河川区域等の適正な利用に関する目標

河川の自然的、社会的特性、河川利用の状況等を勘案しながら、河川の状態を把握するとともに、河川敷地の不法占用や不法行為等への対応を行います。



河川環境の整備と保全に係る目標

生物の生息・生育・繁殖環境、河川景観、人と川とのふれあいの場、水質等について、熊野川の特長や社会的な要請等を考慮しながら対応していきます。



熊野川の河道特性、自然的・社会的特性、土砂移動特性、河川環境特性等を踏まえ、河川維持管理上留意すべき事項を、次の通り設定しています。

河道流下断面への影響

■熊野川下流部は流れが緩やかであり、河道掘削後の土砂再堆積が懸念されます。

■支川合流点付近は土砂堆積が生じやすく、相野谷川の治水安全度が低くなっています。

■沿岸流の影響により河口砂州が発達しやすく、河口閉塞が懸念されます。



洪水時 H26.08.17撮影
相野谷川合流点 土砂堆積量(推定)約10,000m³



平常時 H27.02.06撮影



河川区域等の適正利用への影響

■熊野川では全域を通して散策、スポーツ、釣り、水遊び、ジェットスキーや御船祭等での利用が行われています。

■世界遺産・熊野川を活用した体験型観光、「熊野川川舟下り」が行われています。

河川環境への影響

■流域は、標高0mから2000m近い高地であるため変化に富む生物相となっており、多くの種が生息しています。

■広域的な水利用として、猿谷ダムから紀の川流域の農業用水として分水しています。

■新宮市や紀宝町等において上水として利用されています。

施設の機能への影響

■河道において出水後に局所洗堀が生じると、護岸や橋梁等の施設の基礎が沈下するなどの支障が生じる恐れがあります。



■県管理時代に施工された特殊堤が多く、老朽化が進んでいます。

■樋門・水門等の主な河川管理施設（許可工作物を除く）が26箇所あり、その多くが建設後30～50年が経過し老朽化が懸念されます。

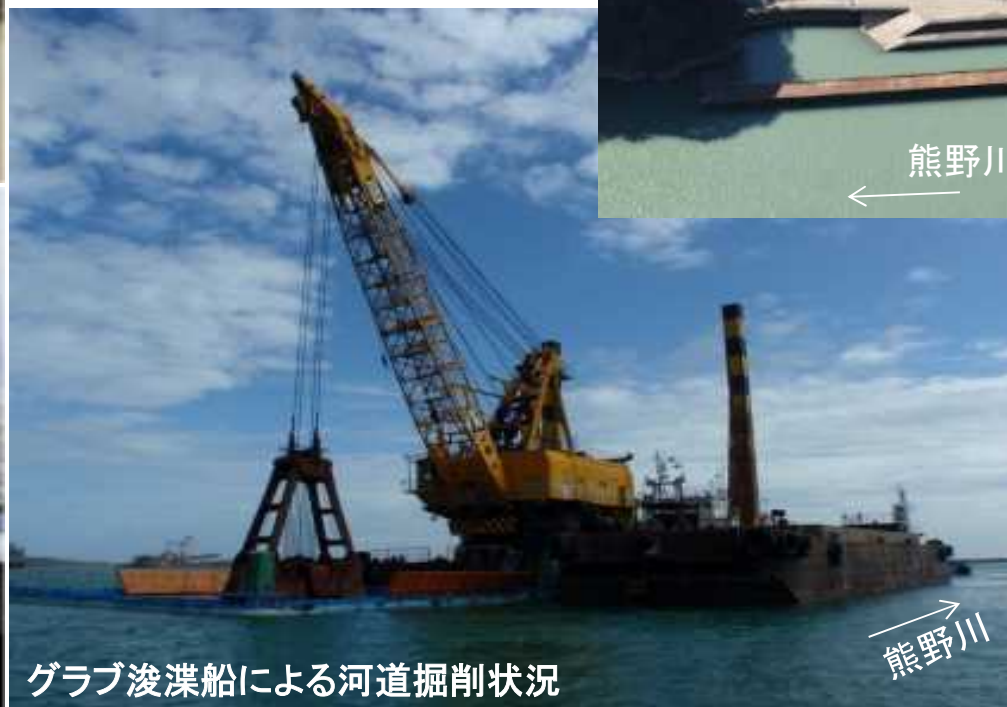
熊野川・相野谷川では、平成23年台風第12号により計画規模を上回る大洪水に襲われました。（紀伊半島大水害）

- これまで経験したことのない大洪水は余りにも多くの爪痕を残しました。
- 現在、熊野川において再度災害防止を目的とした河道掘削などの取組を実施しています。

被災状況



工事実施状況



樋門などの操作を確実に行えるよう、樋門操作講習会を行っています。

- 紀南河川国道事務所では、出水期に備え、樋門・水門等の河川管理施設の操作を確実に行うため、6月26日(日)に事務所・新宮川出張所・新宮市、27日(月)に事務所・新宮川出張所・紀宝町の合同による『樋門操作講習会』を実施しました。

樋門操作講習会

【新宮市域】

日 時：令和4年6月26日(日)

内 容：樋門操作講習会、
現地での機側操作確認

参加者：新宮市、操作員、新宮川出張所
紀南河川国道事務所



樋門操作講習 (26日)



樋門の機側操作確認

【紀宝町域】

日 時：令和4年6月27日(月)

内 容：樋門操作講習会、
現地での機側操作確認

参加者：紀宝町、操作員、新宮川出張所
紀南河川国道事務所



樋門操作講習 (27日)

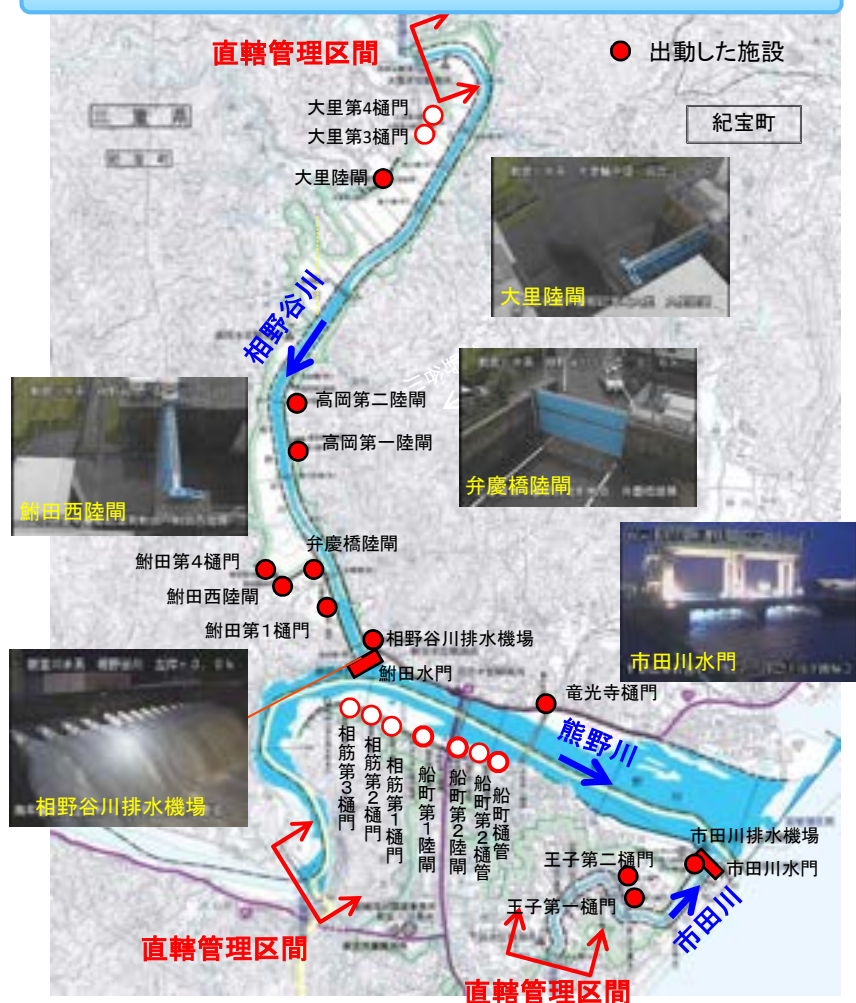


陸閘の操作確認

樋門や水門・排水機場の操作を行い、浸水被害の低減に取り組んでいます。

- 令和4年度は台風等により熊野川の水位が上昇しなかったため、施設の操作は実施ませんでした。
- 令和元年8月の台風第10号では、相野谷川では計画高水位を上回りましたが、適切な操作及び輪中堤整備により家屋浸水は回避しました。

令和元年 台風第10号での出勤状況 (R1/8/14~16)



令和元年 台風10号での浸水範囲

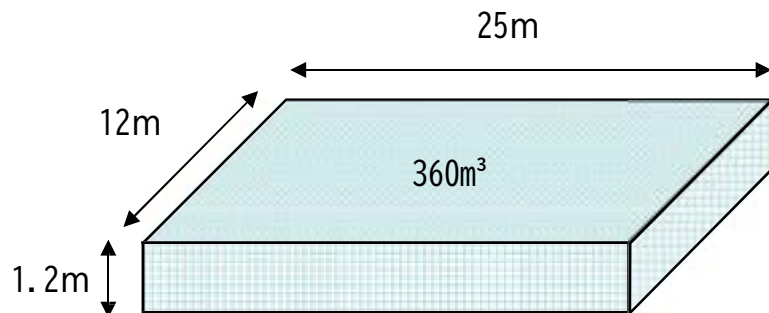


排水機場は、熊野川の水位が上がったときに、水門を閉めポンプを操作・運転し、内水を熊野川へ排出することで、内水被害の発生を防止します。

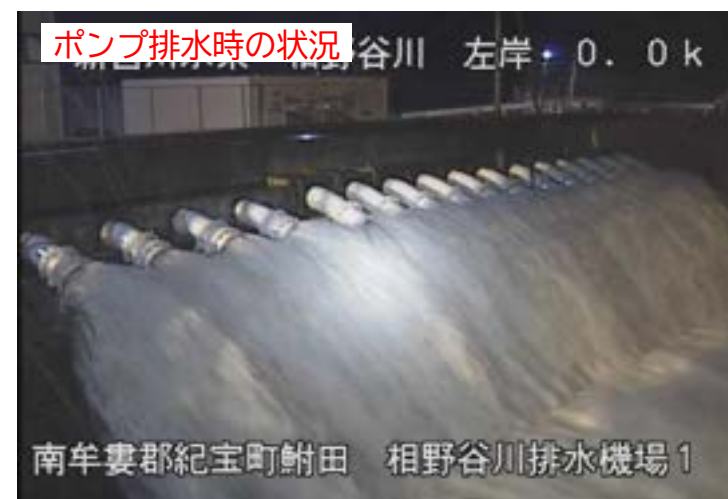
- 令和4年度は台風等により熊野川の水位が上昇しなかったため、排水機場の操作は実施しませんでした。
- 熊野川の水位上昇により内水被害が想定される場合は、周辺の内水被害軽減のため、相野谷川排水機場と市田川排水機場で、ポンプ操作を行ないます。

	ポンプ能力	25mプールで換算した場合の能力	令和元年台風10号出水での排水量
相野谷川排水機場	最大 15.0m ³ /s (5.5m ³ /s × 2台) (1.0m ³ /s × 4台)	約24秒で25mプールの水を排出	4.2万m ³
市田川排水機場	最大 17.1m ³ /s (5.0m ³ /s × 2台) (5.1m ³ /s × 1台) (1.0m ³ /s × 2台)	約21秒で25mプールの水を排出	7.8万m ³

令和元年台風10号出水では、浸水被害を防ぐために、排水量12万m³の内水を熊野川本川に排出しました。



排水量12万m³ = 25mプール 約334杯分



国・和歌山県・新宮市が連携して実施している「市田川流域大規模浸水対策事業」の一環として、市田川排水機場のポンプ増強を進めています。

- 平成29年台風第21号によって市田川沿川で発生した内水被害を受け、国・和歌山県・新宮市が連携して「市田川流域大規模浸水対策事業」を実施しています。



▲市田川排水機場(新設)の整備状況

紀南河川国道事務所は排水ポンプ車をはじめ災害対策用車両を保有しています。

- 紀南河川国道事務所では、災害に備えて排水ポンプ車や照明車を保有しています。
- 令和4年度は災害対策用車両の活動はありませんでしたが、令和元年8月の台風10号では、新宮市・紀宝町の要請に基づき排水ポンプ車を配備しました。

▼保有する災害対策車両一覧(令和4年4月時点)

機 械 名	規 格 等	台 数
排 水 ポ ン プ 車	30m ³ /min級	3台
	60m ³ /min級	1台
	150m ³ /min級	1台
照 明 車	2kW×6灯 ブーム式(20m)	2台
	LED1.3kW×6灯 2ポール式(10m)	1台
衛星通信車	中型	1台
対策本部車	拡幅型	1台



たくさんの
災害対策車両
を保有して
いるのね



▲台風10号(令和元年8月)の排水ポンプ車の活動状況(紀宝町)



▲台風10号(令和元年8月)の排水ポンプ車の活動状況(新宮市)

台風等の災害に備えるため、タイムライン協定を締結しています。

- 台風の上陸が予測される数日前から災害に備えた防災対策をだれが、いつ、何をするのか事前に 行動計画を定めておくのがタイムラインです。
- タイムライン実行時には、防災情報等の提供による支援、関係機関との連携を図っています。

防災情報の提供



新宮市災害対策本部会議



紀宝町タイムライン連携会議



水位見通し



排水ポンプ車配備

紀宝町タイムライン協定



H27.2.21

新宮市タイムライン協定



H30.3.27

台風が来る前に
私も準備しないと



地域の防災知識の普及、防災意識の向上、災害対処能力の更なる向上を図るため、幅広い主体が参画して実践的な「熊野川総合水防演習」を実施しました。

- 平成23年の紀伊半島大水害で得た教訓を未来に継承するため、令和4年5月28日（土）に、近畿地方整備局、和歌山県、三重県、新宮市、紀宝町、田辺市、那智勝浦町、太地町、古座川町、北山村、串本町、熊野市等の地方自治体、各地域の消防、警察、医療関係者等が一堂に会し、熊野川で初めての総合水防訓練を実施しました。



▲令和4年度熊野川総合水防演習 開会式



▲ホットライン訓練



▲水防活動支援（土のう造成機の製作訓練）



▲緊急排水訓練



▲TEC-FORCE災害状況調査訓練

主催

国土交通省、和歌山県、三重県、新宮市、紀宝町、田辺市、那智勝浦町、太地町、古座川町、北山村、串本町、熊野市

参加機関

国土交通省近畿地方整備局、和歌山県、三重県、新宮市、紀宝町、田辺市、那智勝浦町、太地町、古座川町、北山村、串本町、熊野市、大阪管区気象台、和歌山地方気象台、陸上自衛隊第37普通科連隊、田辺海上保安部、関西空港海上保安航空基地、和歌山県警察本部、新宮市消防本部、田辺市消防本部、那智勝浦町消防本部、串本町消防本部、熊野市消防本部、新宮市立医療センター、和歌山県立医科大学附属病院（和歌山県ドクターヘリ）、NHK和歌山放送局、一般社団法人日本建設業連合会関西支部、一般社団法人和歌山県建設業協会新宮支部（新宮地方建設業協同組合）、一般社団法人リバーテクノ研究会、電源開発株式会社西日本支店、関西電力株式会社、株式会社テレビ和歌山、那智勝浦市野々区自主防災組織、沿川自治会、要配慮者利用施設、近畿地方整備局防災エキスパート（順不同）

協賛

全国水防管理団体連合会

協力

国土地理院近畿地方測量部、独立行政法人水資源機構、公益財団法人河川財団、公益社団法人日本河川協会、一般財団法人河川情報センター（順不同）

台風等の災害時に沿川住民の方々が熊野川流域の雨量や水位、ライブカメラ等を確認することができます。

■ 紀南河川国道事務所では、インターネット・スマートフォン等で河川情報（防災体制・雨量・水位・ライブカメラ等）を提供しています。



https://www.kkr.mlit.go.jp/kinan/river/river_suii.html



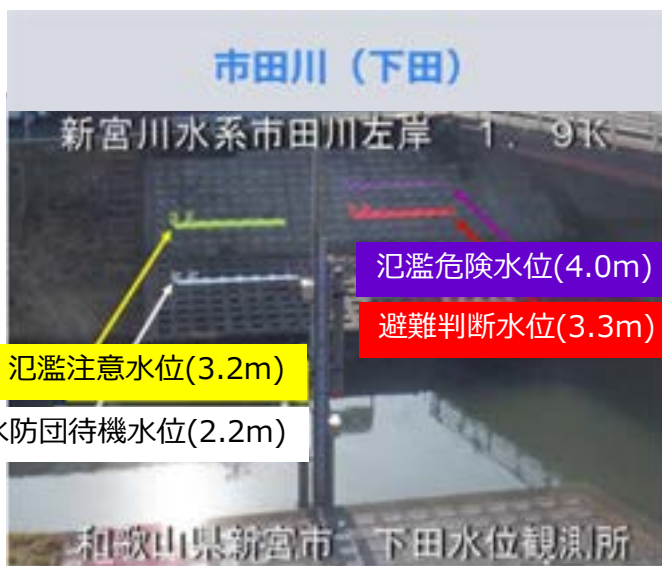
https://www.kkr.mlit.go.jp/kinan/river/river_uryou.html

近くの河川水位を確認しよう！



洪水時に住民の避難行動を支援するため、「避難目安の水位ライン」やライブカメラ画像等の河川情報をわかりやすくまとめたホームページを開設しました

- 大雨時に住民の方が自ら自発的に避難行動を起こすことができるよう、「今、水位はどこまで上がっているか？」を直接的・感覚的に、より臨場感を持ってリアルに把握することができる情報として、現在の水位を把握できるカメラ画像を提供することにしました。
- ホームページでは、「避難目安の水位ライン」を確認できるライブカメラ画像および活用方法をわかりやすくまとめています。



https://www.kkr.mlit.go.jp/kinan/river/river_hinan.html

『基準水位』について

氾濫危険水位：「避難指示」の発令判断の目安となる水位

※危険な場所から全員避難（立退き避難又は屋内安全確保）する。

避難判断水位：「高齢者等避難」の発令判断の目安となる水位

※要配慮者（高齢者、乳幼児、障害者等）は危険な場所から退避（立退き避難又は屋内安全確保）する。

氾濫注意水位：水防団が出動し、警戒にあたる水位

※避難に備え自らの避難行動を確認する。

水防団待機水位：水防団が水防活動の準備を始める目安となる水位



「避難目安の水位ライン」とは

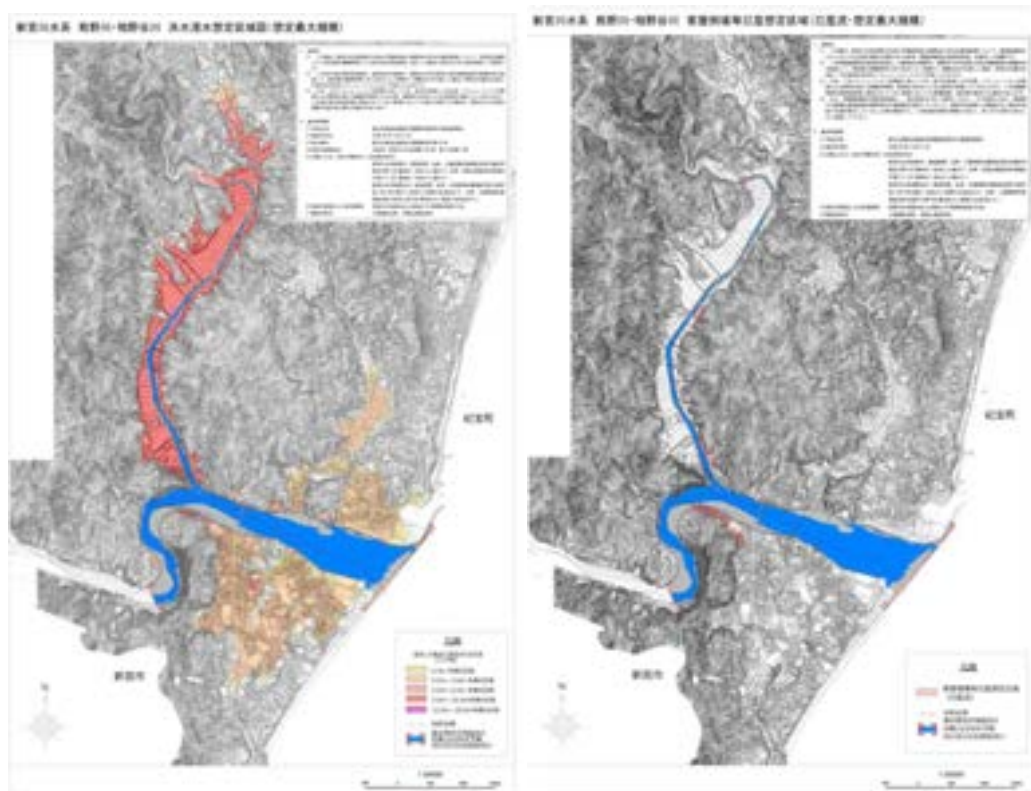
『避難目安の水位ライン』とは、洪水予報の基準水位となる氾濫危険水位や避難判断水位等の水位を水面と比較することにより、視覚から直接的に把握できるように河川内に示したラインです。避難のきっかけとなる”避難スイッチ”として活用できます。



洪水浸水想定区域図の作成・公表、重要水防箇所の公表を行っています。

- 市町村長による避難勧告等の適切な発令や住民等の主体的な避難の取り組みを進めるため、想定最大規模洪水による洪水浸水想定区域図を作成し、公表しています。
- 洪水時に、地域の水防団の方々が効率的に危険な箇所を点検するため、毎年重要水防箇所を定め、洪水予報連絡会幹事会やホームページ等で公表しています。

洪水浸水想定区域図の公表



▲熊野川、相野谷川、市田川の各種想定区域図を公表しています。

<https://www.kkr.mlit.go.jp/kinan/river/shinsuisoutei.html>

重要水防箇所の公表



▲熊野川、相野谷川、市田川の重要水防箇所を公表しています。

<https://www.kkr.mlit.go.jp/kinan/river/suibou.html>

適正な河川管理を行うことを目的に、堤防や護岸の変状の早期発見、河川の利用状況やゴミの不法投棄などを把握するため、河川巡視を行っています。

- 河川管理施設の状況や河川の状況等を把握し、速やかに情報共有しています。
- 熊野川は堤防上から見にくいところがあることから水上巡視も行っています。

水上からの巡視



R4.6.7



R4.5.19



船の上からも
見守っているのね

陸上での巡視



R4.9.1



R4.7.28

▲河川巡視(水上、陸上) 実施状況

河口部の土砂堆積について、定期的・継続的なモニタリングを行っています。

- 熊野川の河口は沿岸流の影響により砂州が発達しやすい場所です。河口砂州が発達すると、川から海への安全な洪水流下が遅れ、市街地の雨水が川に流れにくくなるため、水災害リスクが高くなります。
- 河口部では、河川巡視で頻繁に目視点検を行うとともに、定期的に測量を行い、必要に応じて土砂の撤去して川の流れを確保したり、砂州の高さを低下させる等の適切な措置を講じています。
- 令和4年度は、増水時により早く開口部が大きくなるよう、河口砂州の事前掘削工事を実施し、7月4日～5日の台風第4号による増水時に開口（フラッシュ）幅を約30mから約220mに広げることができました。

7月1日撮影（掘削施工中）

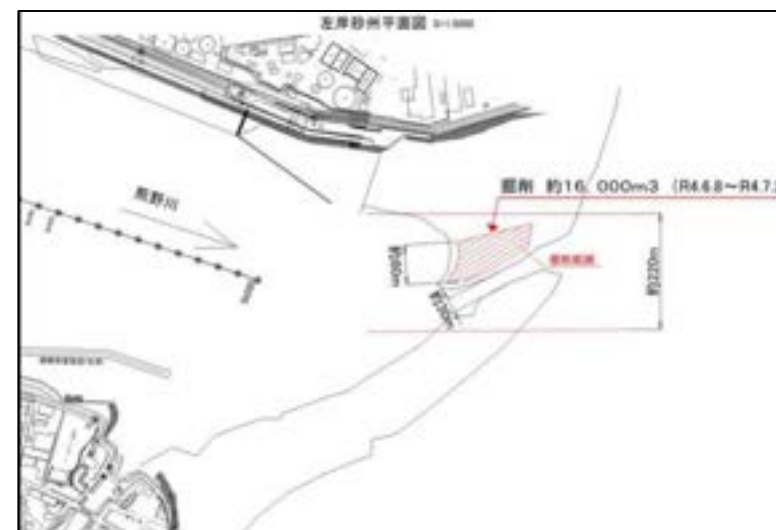


7月5日撮影（増水後）



▲台風第4号前後の河口砂州の状況

対策を
実施したのね！



▲事前掘削工事の位置

河川の自然環境の変化について、河川巡視、河川水辺の国勢調査等で、定期的・継続的なモニタリングを行っています。

- 平成18年度以降、熊野川では河川水辺の国勢調査を実施しており、令和4年度は底生動物調査を実施しました。
- 河川水辺の国勢調査では、魚類、底生動物、植物、鳥類、両生類・爬虫類・哺乳類、陸上昆虫類等の6項目の生物調査及び河川環境基図作成を定期的、継続的に実施しています。
- その他、河道掘削工事等による環境への影響を確認するための環境モニタリング調査も実施しています。
- 日常の河川巡視でも、季節の自然環境変化や重要生物の状況等についても状況把握を行っています。

▼河川水辺の国勢調査の調査項目と調査頻度

調査項目			調査実施の頻度
生物調査	魚類調査		5年に1回
	底生動物調査		5年に1回
	植物調査(植物相調査)		10年に1回
	鳥類調査		10年に1回
	両生類・爬虫類・哺乳類調査		10年に1回
	陸上昆虫類等調査		10年に1回
河川環境基図 作成調査	陸域調査	植生図作成調査	5年に1回
		群落組成調査	
		植生断面調査	
	水域調査		



▲底生動物調査の状況



▲野鳥の飛来状況（河川巡視）

令和4年度 水門等操作功労者の感謝状贈呈式を行いました。

- 紀南河川国道事務所では、水門等操作員として長年、洪水被害軽減のために洪水時は昼夜を問わず、豪雨の中をいち早く施設に駆けつけ、地域の災害・被害の軽減にご尽力された方の功績を称え、令和4年3月に退職された操作員nの方々に「感謝状」を贈呈しました。

水門等操作功労者の感謝状贈呈式

日 時：令和4年10月3日(月) 10:00-10:40

場 所：紀宝町役場 2F 会議室

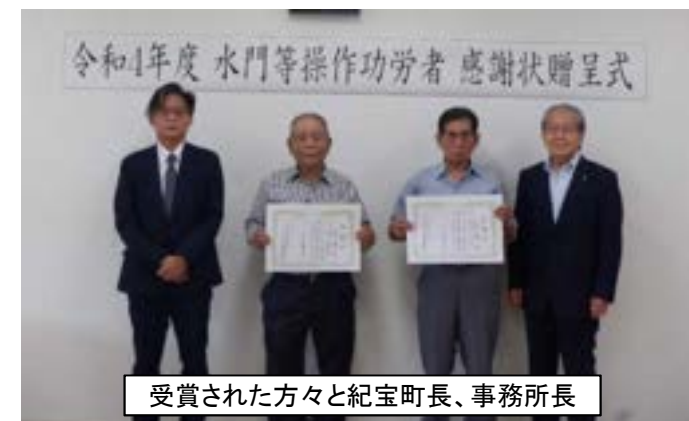
主 催：紀南河川国道事務所、紀宝町

受賞者：小西康雄氏（18年間従事）、鈴木義弘氏（17年間従事）

内 容：紀南河川国道事務所長挨拶、
感謝状贈呈、紀宝町長祝辞

受賞者の方々からの声

- ・このような感謝状をいただきうれしく思っています。年齢的にも限界に達し、このままでは町の皆さまに迷惑がかかると思い、身を引く決意をしました。町長をはじめ職員の皆さま、ありがとうございました。（小西様）
- ・感謝状をいただきありがとうございました。今後は、防災に関して協力していきたいと思います。（鈴木様）



令和4年度 河川愛護モニターの委嘱式を行いました。

- 国土交通省では、河川の整備・利用・環境に関する地域の要望を把握し、地域との連携をさらに進め、あわせて河川愛護思想の普及および河川の適正な維持管理に資するため、『河川愛護モニター』を設置しています。
- 熊野川・市田川・相野谷川の各河川をモニターして頂く方を3名決定し、7月12日（火）に委嘱式を行いました。

河川愛護モニター委嘱式

紀南河川国道事務所では、毎年、河川愛護モニターを委嘱し、日常生活の範囲内で知り得た河川に関する情報を報告していただき、河川管理等に役立てています。令和4年度は、3名の方に活動していただいています。

日 時：令和4年7月12日（火） 10:00-11:00

場 所：市田川排水機場

主 催：紀南河川国道事務所

参加者：河川愛護モニター3名

内容：委託書の交付、
紀南河川国道事務所の事業概要説明
河川愛護モニターとしての活動内容説明、
意見交換・質疑応答等

毎年4月頃に
ホームページで
モニター募集を
しているよ！



今年度の河川愛護モニターを委嘱された方々



活動内容の説明を聞き入るモニターの方々

モニターから

- ・ 過去から熊野川は親しみがあり、熊野川という名を残してほしい。
- ・ 小学生のころは、熊野川にはいかだがいっぱいあり、いかだに乗って遊んだこともある。
- ・ 日頃から注意して見て報告したい。
- ・ 普段気付かない意見等が重要であり、気付いたことをできるだけ報告していきたい。

堤防に変状がないか確認しやすくするため、年2回の点検前に堤防除草を行っています。

- 堤防の法面は芝等の植生で覆い、洪水の水の流れから堤防を守る重要な役割があります。
- 堤防の点検時期に合わせて、点検しやすいように必要な範囲の堤防除草を行っています。



刈草をロール化して
無償提供しました。

堤防の表面が
見やすく
なったね！



▲堤防除草実施状況

堤防や護岸、樋門などは洪水を受けると変状が生じることがあります。
点検を行い、異常がある場合は、早期に補修を行うことが重要です。

- 堤防の点検は、出水期、台風期の洪水に備えて事前に実施しています。
- 大きな洪水直後、大規模な地震の後にも河川巡視や点検により速やかに状態を確認しています。

こんな所まで
見ているんだ！



堤防や護岸、樋門など洪水を受けると変状が現れます。点検を行い、異常がある場合は、早期に補修を行うことが重要です。

- 令和4年度に実施した堤防等河川管理施設の点検対象施設です。
- 直ちに、補修等の対策が必要な施設はありませんでしたが、評価結果を踏まえ計画的に補修を実施していきます。

▼樋門・樋管の点検対象施設

河川名	施設名
熊野川	竜光寺樋門
熊野川	船町第1樋管
熊野川	船町第2樋管
熊野川	市田川浄化揚水樋門
熊野川	相筋第3樋門
熊野川	相筋第2樋門
熊野川	相筋第1樋門
熊野川	市田川浄化用水取水口ゲート
市田川	市田川排水機場右岸水位維持ゲート
市田川	市田川排水機場左岸水位維持ゲート
市田川	市田川排水機場左岸排水樋門
市田川	市田川排水機場右岸排水樋門
市田川	王子第1樋門
市田川	王子第2樋門
相野谷川	鮎田第1樋門
相野谷川	鮎田第3樋管
相野谷川	鮎田第2樋管
相野谷川	鮎田第4樋門
相野谷川	高岡第1樋門
相野谷川	高岡第2樋門
相野谷川	大里第1樋管
相野谷川	大里第2樋門
相野谷川	大里第3樋門
相野谷川	大里第4樋門

▼堤防の点検対象区間

河川名	岸別	区間	距離標	区間延長 (km)	評価実施 堤防延長 (km)
熊野川	左岸	1	0.00～3.20km	3.20	3.20
		2	3.20～5.00km	1.80	0.00
	右岸	1	0.00～3.60km	3.60	1.60
		2	3.60～5.00km	1.40	0.00
	河川合計			10.00	4.80
市田川	左岸	1	0.00～2.00km	2.00	2.00
	右岸	1	0.00～2.00km	2.00	2.00
	河川合計			4.00	4.00
相野谷川	左岸	1	0.00～5.70km	5.70	5.70
	右岸	1	0.00～5.70km	5.70	5.60
	河川合計			11.40	11.30

▼水門の点検対象施設

河川名	施設名
熊野川	市田川水門
熊野川	鮎田水門

ドローンを活用して、堤防や護岸などの被災調査を行いました。

- 令和元年8月の台風第10号が通過した後にドローン、巡視等による被災調査を行いました。
- 調査状況をより多くの職員がリアルタイムで確認し、速やかな状況把握に努めました。

市田川浄化揚水取水口の閉塞



相野谷川の状況



河口砂州の流出



流木堆積状況





Topic5. 早期発見に努めています

R4熊野川河川管理レポート

県や市町、JR等が管理する樋門・樋管、橋梁などで、熊野川、市田川、相野谷川に関連する施設は、適切に維持管理が行われているか監督、指導を行っています。

- 県や市町、JR等が熊野川、市田川、相野谷川に関連する施設を所有している場合、出水期までにそれら施設の管理者（占有者）に点検・補修を実施していただき、河川管理者は報告を受けています。
- 河川管理者は、これらの施設（許可工作物）が適切に維持管理されているか確認し、必要な場合は指導を行っています。

◆揚排水機場 点検結果表

令和4年5月18日作成

施設名	高田第一樋門排水機場	所在地	紀宝町高田	河川部懸橋（左・右岸）	左岸1.8Km付近	完成年月日	
施設管理者	機関名 紀宝町役場	担当課 基盤整備課	電話番号 0735-33-0357	点検年月日 令和4年5月18日	点検者	役職 [redacted]	氏名 [redacted]

点検項目	点検結果 (□:チェックボックス)
施設本体の損傷状況	☒ 施設本体の損傷状況 ☒ 附属設備の損傷の有無 ☐ その他
取付護岸（堤固め含む）の維持状況	☒ 施設周辺の護岸の状況 ☒ 堤固め（流石・防砂等）に異常がない ☐ その他
高水敷保護工の維持状況	☒ 高水敷保護工に異常がない ☐ その他
取水槽・吐出水槽・貯留槽の維持状況	☒ 取水槽・吐出水槽・貯留槽に異常がない ☐ その他
適正な操作状況	☒ 所轄に異常がない ☒ 所管側の作業を行い、異常がない ☐ その他
ゲートの開閉状況	☒ ゲートの開閉に異常がない（水漏れ、開閉指示、ローラーの回転等） ☐ その他
ポンプの開閉状況	☒ 所轄に異常がない ☒ ポンプの起動を行い、異常がない ☐ その他
施設周辺の堤防の異常等の状況	☒ 入河前線付近に土砂崩壊に陥る等の異常に気づく等の異常がない ☐ その他
「操作・管理・点検」等に関する様式・要項等の整備状況（現状と整備しているか）	☒ 操作・管理等に備えた様式・要項等がある ☒ 情報連絡 ☐ その他
管理（点検）体制の整備状況	☒ 管理担当者及び年・月点検の実施体制について確認 ☐ その他
占用地の清掃・除草の実施状況	☒ 占用地の清掃・除草が行われている（実施時期： ） ☐ その他
その他施設管理状況	☒ 洪水・津波等の状況、防災等の取組がない ☐ その他
第三者の安全確保状況	☒ 第三者に対して危険がない（転落防止柵、管理柵、立入禁止柵等） ☐ その他
その他（ ）	
前回の点検事項の内容	改善の有無
備考	

※点検項目は各施設の状況に応じて追加・削除し使用する。
※点検結果は出水期前に設置者に提出してもらい、河川管理者にて確認し、必要な指導、助言等を行う。

◆橋梁 点検結果表

令和4年5月18日作成

施設名	弁慶橋	所在地	左岸 紀宝町新田字吉ノ前251番 右岸 紀宝町新田字吉ノ前555番1		河川部懸橋 (左・右岸)	左岸0.4Km+109.2m 右岸0.4Km+109.2m	完成年月日	平成8年	
路線名	町道前ノ津橋	構造や適合の有無	有	橋長	74.5		経路数	3	
施設管理者	機関名	担当課	電話番号		点検年月日	令和4年5月18日	点検者	役職	氏名
	紀宝町役場	基盤整備課	0735-33-0357						
点検項目		点検結果 (□:チェックボックス)				○:問題なし ×:問題あり 一:該当なし	問題がある場合は具体的な内容及びその対応を記載		
上部工の施設状況		☒ 上部工の状況を確認（道路を含む）し、河川及び周辺への影響の有無を確認 ☐ その他				○	異常なし		
下部工の施設状況		☒ 下部工の状況を確認（道路を含む）し、河川及び周辺への影響の有無を確認 ☐ その他				○	異常なし		
取付護岸(堤固め含む)維持状況		☒ 護岸、堤固め、支保材、杭、流石などの護岸の状況を確認 ☐ その他				○	異常なし		
高水敷保護工の維持状況		☒ ビア及び高水敷の維持状況を確認 ☐ その他				○	異常なし		
上下流の河床洗掘の状況		☒ 占用している高水敷護岸や橋脚工事の影響を及ぼす恐れのある河床洗掘がない ☐ その他				○	異常なし		
橋脚の侵入の状況等		☒ 橋脚の状況について、測量または目視による確認 ☐ その他				○	異常なし		
出水時及び異常時の情報連絡体制等の整備状況		☒ 情報連絡体制を確認 ☐ その他				○	情報連絡体制について		
橋梁の点検体制の状況		☒ 出水期前に点検回数等に備えて実施している ☐ その他				○	平常時年6回及び台風前後、等		
占用地の清掃・除草の実施状況		☒ 占用地の清掃・除草が行われている（実施時期： ） ☐ その他				○	除草済		
その他施設管理状況		☒ ビア等に付着している土砂等の状況、工事等の取組がない、危険物に異常がない ☐ その他				○	異常なし		
第三者の安全確保状況		☒ 第三者に対して危険がない（転落防止柵、管理柵、立入禁止柵等） ☐ その他				—			
その他()									
前回の点検事項の内容						改善の有無及び内容			
備考									

橋梁等も
点検されて
いるんだね！

※点検項目は各施設の状況に応じて追加・削除し使用する。
※点検結果は出水期前に設置者に提出してもらい、河川管理者にて確認し、必要な指導、助言等を行う。

橋梁等も
点検されて
いるんだね！



排水機場、水門・樋門、陸閘、観測施設の機能の維持を図っています。

- 洪水時において確実に機能するように、定期的に保守点検作業を行っています。
- 出水が予測される前には事前に運転点検等を実施しています。



沢山の
プロフェッショナルに
支えられているのね



変状等を確認した時は、早急に対策を行っています。

これで安心ね！



■ 点検等により損傷箇所を発見した際は、さらに状態が悪くならないよう、早急に対策を行っています。

堤防の補修

市田川下流部において、堤防裏法の擁壁にクラックが入っていることを確認したため、補修工事を行いました。



排水樋門の補修

相野谷川下流部において、排水樋門出口のコルゲート管に破損を確認したため、補修工事を行いました。



構造物の補修

相野谷川下流部において、流入水路の上部に動物の掘り返し、翼壁にひび割れや剥離を確認したため、補修工事を行いました。



低水護岸の補修

市田川下流部において、低水護岸の目地の開きを確認したため、補修工事を行いました。



河川管理施設の補修などを行い、安全確保を図っています。

■ 熊野川で安全に楽しんでいたために、令和4年7月21日(木)に河川管理施設の安全利用点検を行いました。

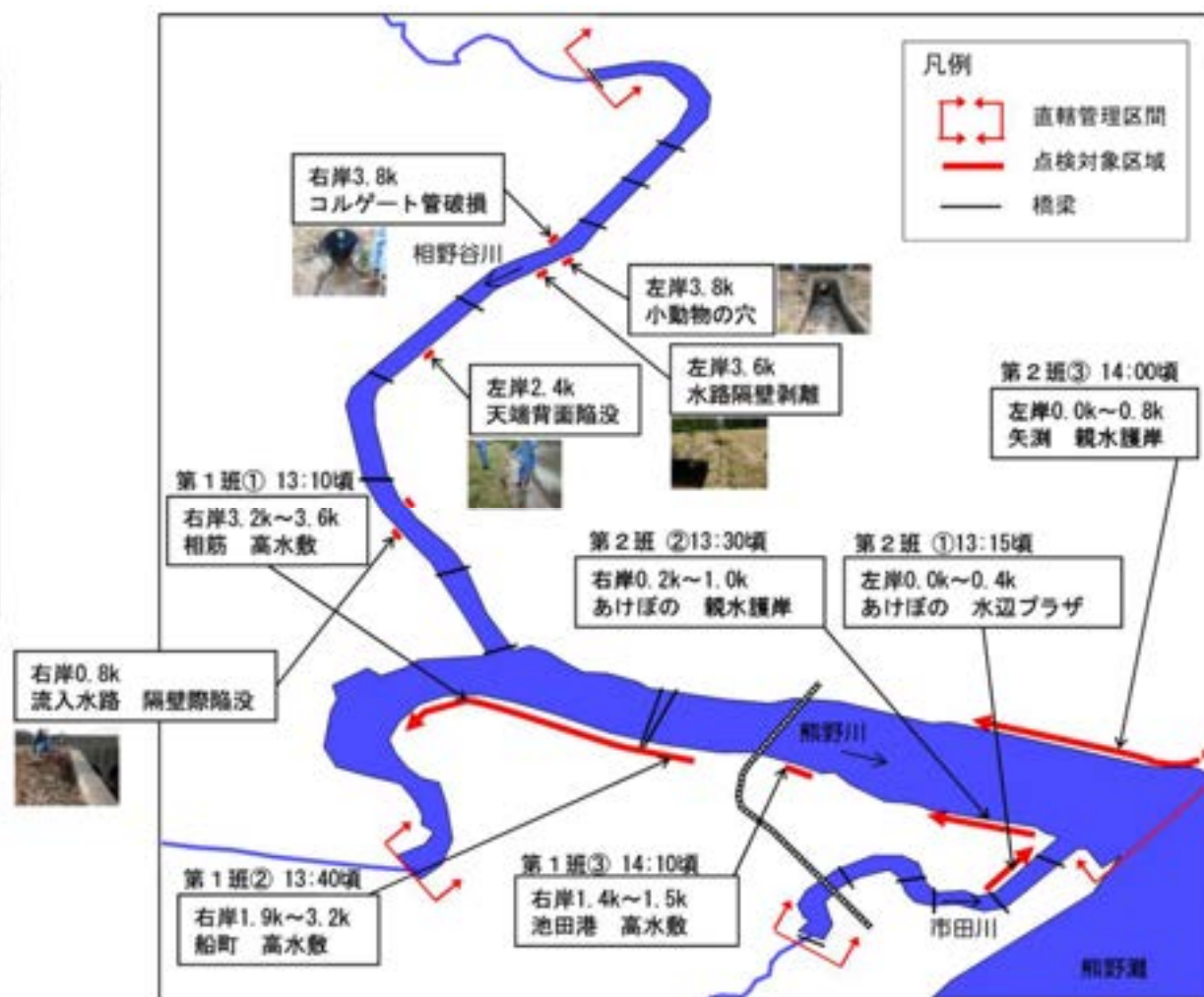
点検状況



お気づきの点があれば、
連絡してね！



点検箇所



河川の適正な利用を促すため、常に河川区域の利用状況を確認しており、必要に応じて不法行為への対策を行っています。

- 河川巡視等により、河川区域の適正な利用がされているか、不法行為はないか等の状況把握を行っています。
- 不法行為を発見した場合は、行為者の特定に努め、速やかに除去・原状回復等の指導監督を行っています。



▲河川区域の利用状況確認



▲不法投棄の発見



▲放置自転車への対策

地域の皆さんと連携して河川清掃に取り組んでいます。

- 「河川を美しくする会」、「新宮市」、「紀宝町」等と協働して、地域の皆さんの協力を得て毎年7月の河川 愛護月間に河川敷の清掃活動を行っています。
- 令和4年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となりました。

熊野川



熊野川右岸



熊野川左岸

約1 tの
ゴミを
回収！



▲回収したごみ

市田川



市田川

たくさんの人に
参加していただ
きました。



学生の皆さんと相野谷川で水生生物調査を行っています。

- 近畿大学付属新宮高等学校・中学校スーパーサイエンス部の皆さん（生徒7名、教員2名）、7月2日（土）に相野谷橋下流で水生生物調査を行いました。
- 調査では、講師として水生生物調査アドバイザーの瀧野秀二氏にご協力いただきました。
- 水生生物調査の結果、今年もきれいな水質であることが分かりました。



相野谷川



ヒラタカゲロウ類、カワゲラ類、ヘビトンボなどが多く見付き、今年も「きれいな水」であることを確認しました。



見つかったカワゲラ類



指標生物の分類



水質パックテスト



その他魚類等の紹介



瀧野先生の講評

参加者の感想
今年の春に同じ場所で調査した時よりも、今回は多くの水生生物を確認することができた。

河川環境に関心を持っていただくための取り組みを実施しています。

- 近畿大学付属新宮高等学校・中学校スーパーサイエンス部の皆さん（生徒6名、教員1名）、電源開発株式会社の皆さん（4名）と共に、10月1日（土）に二津野ダム下流域の物理特性（線格子法による河床材料の計測）と生物の応答について調査を行いました。
- 調査では、講師として水生生物調査アドバイザーの瀧野秀二氏、京都大学の竹門康弘氏にご協力いただきました。



開会



定量採集



生物の分類



河床材料の計測



定性採集



竹門先生の解説

熊野川・北山川主要地点の毎正時濁度データを公開しています。

- 「熊野川の総合的な治水対策協議会」において、濁水長期化軽減対策を検討し、目標達成に向けて各機関が取り組んでいます。
- 濁水の発生は多くの要因が影響することから、全ての対策が終了するまでモニタリングを行っていきます。

～毎正時の濁度データを公開しています～

- 「熊野川の総合的な治水対策協議会」において、濁水長期化軽減対策を検討し、目標達成に向けて対策を進めているところです。
- 濁水の発生は、毎年の出水状況と河川や流域の多くの要因が影響するため、全ての対策が終了するまではモニタリングを行っていきます。



▲『熊野川・北山川の合流地点』の画像(10分更新)をHPで配信しています。



▲各観測地点の濁度データをHPで公開しています。



南検杖地点で濁度20以上を記録した日数は、平成23年災害後、減少傾向が確認されています。

<http://www.kkr.mlit.go.jp/kinan/river/kumanoinfo/dakudo.php>

刈草の処分量削減のため、植生点検や焼却処分、刈草の無償提供を行い、積極的なコスト縮に取り組んでいます。

- 熊野川では、草丈の低い植生への転換に着手し、刈草量の削減によるコスト縮減を図っています。
- また、熊野川の河道掘削で発生した土石について、採取を希望する事業者を公募して提供しました。
- 除草により発生する刈草を有効な資源として、多くの方々に利用していただくために、年2回無償で提供しました。

草丈の低い芝へ植生転換（熊野川・相筋堤防等）



平成29年10月4日



令和4年1月13日

刈草の無償提供（年2回実施）



刈草ロール化



刈草ロール保管状況

事務所ホームページでお知らせしています。

土砂採取公募（熊野川）

国土交通省
近畿地方整備局
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism, Kinki Regional Development Bureau

Press release

令和4年5月9日 14:00
資料配布 近畿地方整備局
紀南河川国道事務所

熊野川(直轄管理区間)掘削土石を
採取する事業者を募集します。

紀南河川国道事務所は、河川整備計画に基づく河川改修事業により、河道掘削で発生する土石について、公共事業へ優先利用した後の土石を対象に、採取を希望する事業者を公募します。

- 【申込期間】令和4年5月10日(火)から令和4年5月30日(月)まで
- 河川内に設置した河道掘削土石を提供。
- 全体予定土石量 54万m³
- 採取期間は、令和4年6月1日(予定)から令和7年3月31日まで
- 河川法の規定により土石採取料が徴収されます。

<取扱い> 令和4年5月10日 新聞以降

<配布場所> 新宮中央記者会、新宮記者クラブ、熊野市記者クラブ

<問合せ先> 国土交通省 近畿地方整備局 紀南河川国道事務所

新所長(河川) 岡崎 慎一
調査課長 八木 啓夫
TEL 0739-22-4564(代)
FAX 0739-26-0629

コスト縮減を
積極的に行っ
ているのね



防災意識向上のため、防災授業などに取り組んでいます。

- 地域の防災力向上のための取り組みの一環として、熊野川中学校で防災授業を行いました。
- 開催は今回で5回目となり、中学生、保護者、地域の方、そして和歌山県と新宮市の方にも参加いただきました。
- 平成23年の紀伊半島大水害時の熊野川中学校周辺の様子などを振り返りながら、水害マップや土砂災害マップなどを確認し、危険箇所の確認や避難のタイミングなどについて紀南河川国道事務所の職員が説明しました。
- また、和歌山県が作成した避難所運営ゲームを行い、実際に避難所を運営する立場になって、避難する際の課題などについて参加者の皆さんで考えました。

熊野川中学校での防災授業

- 日 時：令和5年2月25日（土） 13：00～15：00
- 場 所：新宮市立熊野川中学校 体育館
- 主 催：紀南河川国道事務所
- 参加者：中学生、保護者、地域の方、和歌山県、新宮市

授業を受けた生徒の感想

- ・ 紀伊半島大水害の時、体育館にどのくらいの水がきたかを知り、水害の怖さについて学んだ。
- ・ 大雨による水害では、避難のタイミングが大切ということが分かった。
- ・ 日足地区は大雨により浸水、土砂災害の危険があるので、早めの避難が大切だと思った。
- ・ 自然災害はいつ起こるか分からないので、避難する場所は家族で話しておくのが大切だと思った。



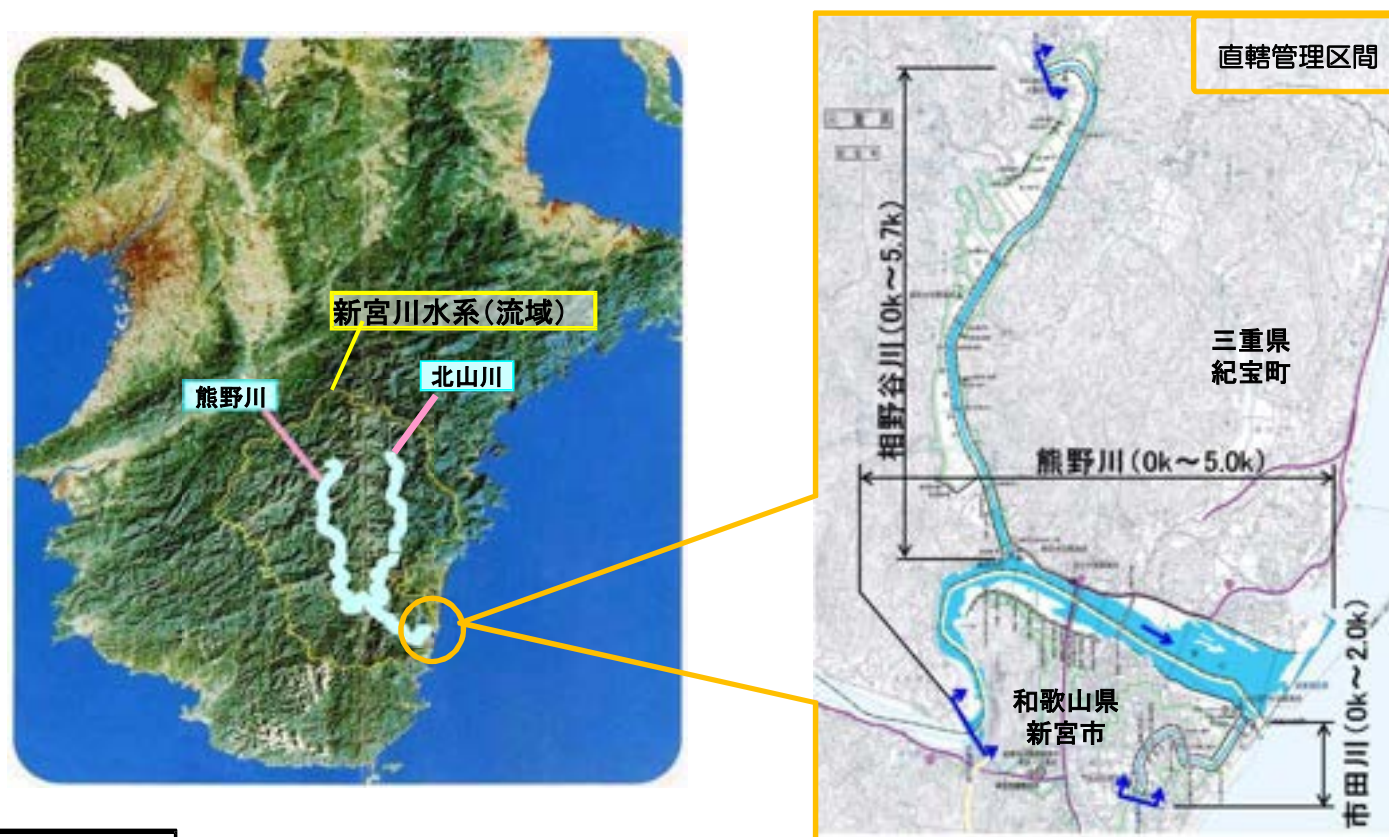
▲職員による概要説明



▲避難所運営ゲームによる班別討議・討論内容の発表



河川の維持管理に終わりはありません。これからもみなさまが楽しく・安全に過ごすことのできる河川であるために、紀南河川国道事務所は日々様々な仕事に取り組んでいきます。



所在地・連絡先



国土交通省 近畿地方整備局

■ 紀南河川国道事務所

〒646-0003 和歌山県田辺市中万呂142

TEL.0739-22-4564 (代)

ホームページ: <http://www.kkr.mlit.go.jp/kinan>

■ 新宮河川国道維持出張所

〒647-0051 和歌山県新宮市磐盾1-3

TEL.0735-22-8165

